

## 事件解決願い遺族ら集会 世田谷一家殺害 22年を前に 2022/12/17



宮沢みきおさん一家4人殺害事件の解決を願う集会で献花する参列者＝17日

東京都世田谷区の住宅で2000年12月、住人の会社員宮沢みきおさん＝当時（44）＝の一家4人が殺害された事件から22年となるのを前に、解決を願う集会が17日、現場に隣接する公園で開かれた。

宮沢さんの母節子さん（91）らは、一家の写真が置かれた献花台に次々と花を手向け、じっと手を合わせていた。節子さんは集会後の取材に「頭がはっきりしているうちに、なぜこの事件が起きたのかを知りたい。（犯人は）自首してほしい」と話した。地元住民や未解決殺人事件の被害者遺族らでつくる「宙の会」のメンバーら約50人が参加した。



宮沢みきおさん一家4人殺害事件の解決を願う集会で献花する母節子さん（中央）＝

東京都世田谷区事件は00年12月31日に発覚。警視庁はこれまでに延べ約29万人の捜査員を投入した。現場には多くの遺留品があり、犯人の指紋やDNA型が判明しているが、未解決のまま。

- [朝日新聞デジタル](#)

## 世田谷一家事件、遺族が7年ぶり献花 「みんな元気でいたところが…」

増山祐史 2022年12月18日 16時00分



[宮澤みきおさん一家4人](#)

[が殺害された自宅を前に献花する節子さん（左から2人目）=2022年12月17日午前10時50分、東京都世田谷区上祖師谷3丁目、増山祐史撮影](#)

[東京都世田谷区](#)で2000年暮れに会社員の宮澤みきおさん(当時44)一家4人が自宅で殺害された事件から間もなく22年となるのを前に、現場近くの都立公園で17日、事件の解決を願う集会が開かれた。みきおさんの母節子さん(91)も参加。現場となった宮澤さん宅を前に、静かに手を合わせた。

殺人事件の遺族でつくる「宙(そら)の会」が主催。同会特別参与で元成城署長の土田猛さん(75)は「日本も米国のようにDNA捜査に関する法整備を整えるべきだ」と呼びかけた。

節子さんが現場近くで献花をするのは7年ぶりという。事件前はみきおさんの長女にいなさん(当時8)や長男礼君(同6)の世話をするため、週に2日は通っていたが、4人の死を実感するのが怖く、足が遠のいていたという。

「街を歩いていると、にいなが生きていたら、今頃このくらいの子孫がいたかなと考えます。みんなが元気でいたところが頭に一斉に押し寄せてくるような気がして、そばに行くのすら怖い」と節子さん。命日を前に、「なぜこんな事件が起きたのかを知りたいと思って頑張ってる。犯人には自首してほしい」と話した。(増山祐史)

## 東京新聞

「なぜこんな事件が…頑張って1人で生きている」 世田谷一家殺害事件から22年 遺族の宮沢節子さんが現場で献花 2022年12月17日 17時37分



宮沢みきおさん一家4人殺害事件の解決を願う集会で献花する母節子さん

(左)。後方は事件のあった住宅=いずれも17日、東京都世田谷区で

東京都世田谷区上祖師谷の会社員宮沢みきおさん=当時(44)=一家4人が殺害された事件から30日で22年を迎えるのを前に、事件解決を願う集会在17日、現場のある祖師谷公園で開かれた。宮沢さんの母節子さん(91)や地域住民ら50人が一家の遺影に花を手向け、手を合わせた。

世田谷事件の解決を願う有志の会が主催。例年屋内で開いているが、節子さんが高齢になったことや現場の住宅が取り壊される可能性などを踏まえ、7年ぶりに現場近くで開催することになった。



発生からまもなく22年を迎える一家4人が殺害された宮沢みきおさんの自宅。左は親族宅

集会では、会の責任者で元警視庁成城署長の土田猛さん(75)が「事件の犯人は現場に指紋と血痕という決定的な証拠を残した。DNA捜査を実現し、一日も早い解決を」とあいさつ。参加者は黙とうをささげた後、献花台に1本ずつ花を供えていった。

節子さんは取材に「私が週2回この家に来ると孫たちが飛び出すように迎えてくれた。それが無いのは今でも耐えられなくなる」と胸中を吐露。「4人のためにも、なぜこんな事件が起きたのかを知りたい。そう思って頑張って1人で生きている」と言葉を絞り出した。



事件の解決を願う集会で献花式に置かれた宮沢みきおさん一家の写真

2000年12月31日、宮沢さん宅で宮沢さんと妻泰子さん=当時(41)、長女にいなさん=同(8つ)、長男礼ちゃん=同(6つ)=が殺されているのが見つかった。警視庁によると、犯行は前日深夜。犯人は血液型A型、身長170センチ前後の比較的若い男とみられる。

情報提供は成城署特別捜査本部=電03(3482)3829=へ。(榊原大騎)